

中小企業景況調査の概要

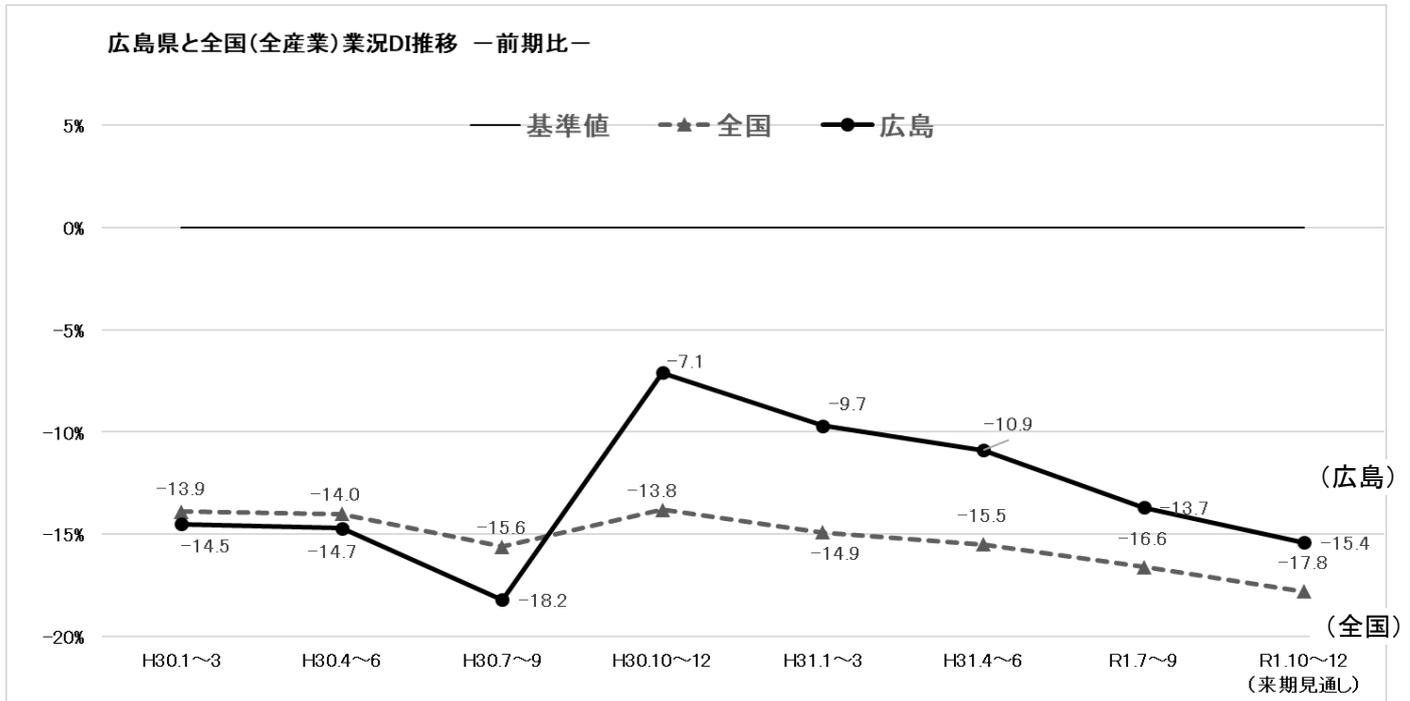
1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸太田町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 225社</p> <p>製造業49 建設業40 小売業70 サービス業66</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和元年7月～9月期実績、及び令和元年10月～12月期の見通し
5. 調査時点	令和元年9月1日

6. DIとは
- Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら.....強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら.....弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準
- 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他
- この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>
 - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

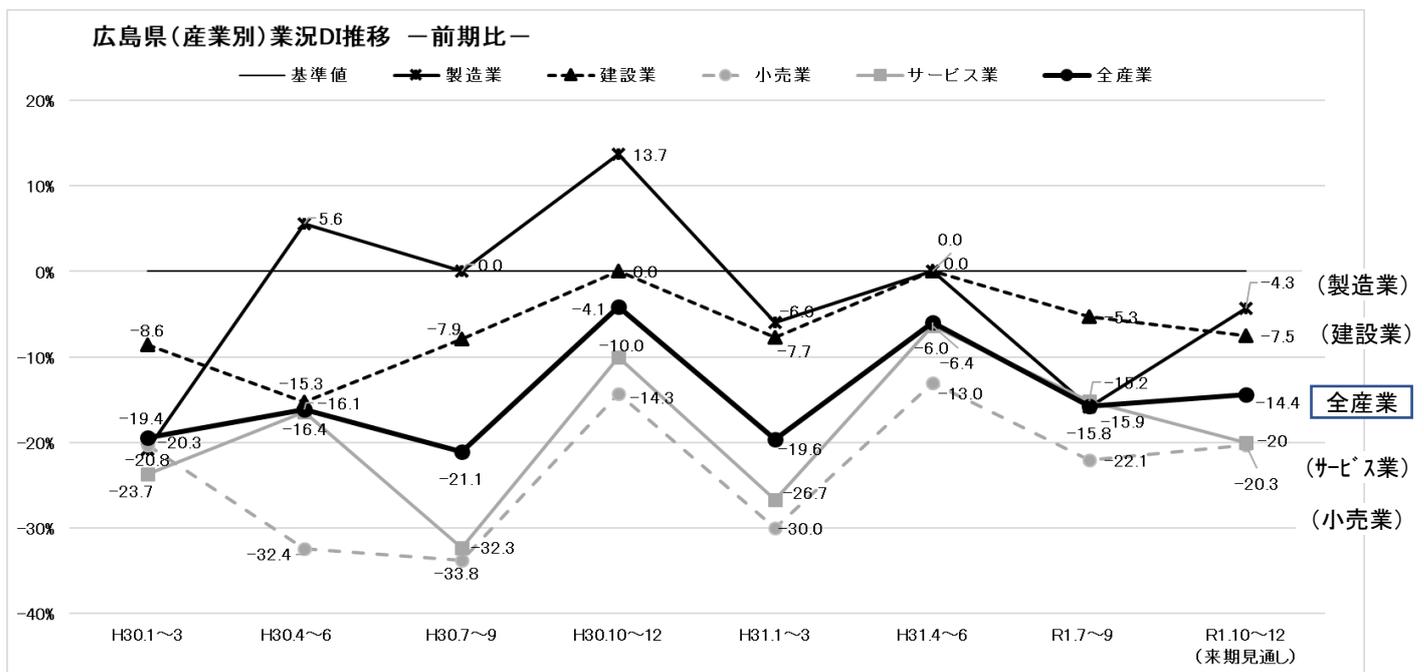
1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-10.9から-13.7(前期差2.8ポイント)と下方推移し、全国DIとともに、3期連続で低下した。来期も広島県、全国ともにさらに低下する見通し。



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、全業種で低下傾向となった。来期は、建設業、サービス業で依然低下する見通しだが、製造業、小売業では回復の見通しとなっている。



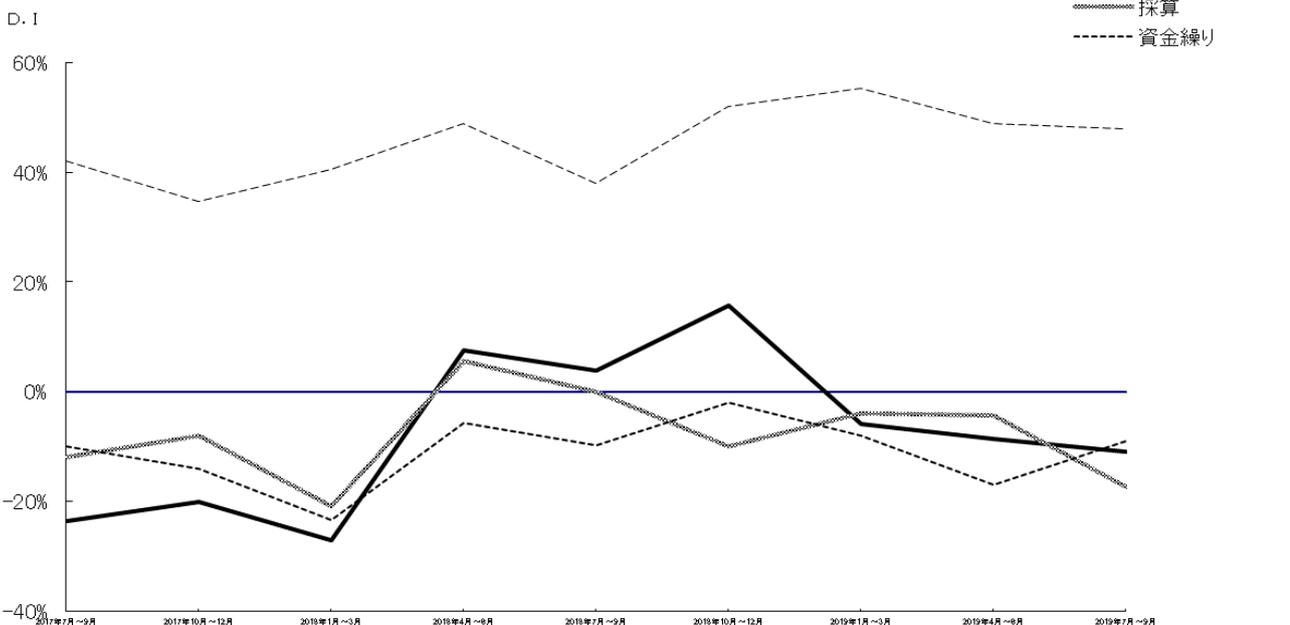
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	H31.4~6	R1.7~9	前期との比較	R1.10~12	今期との比較			
売上額	-8.5	-10.9	↘	-8.7	↗			
原材料仕入単価	48.9	47.8	→	37.0	↘			
採算	-4.3	-17.4	↘	-21.7	↘			
資金繰り	-17.0	-8.9	↗	-13.4	↘			

広島 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

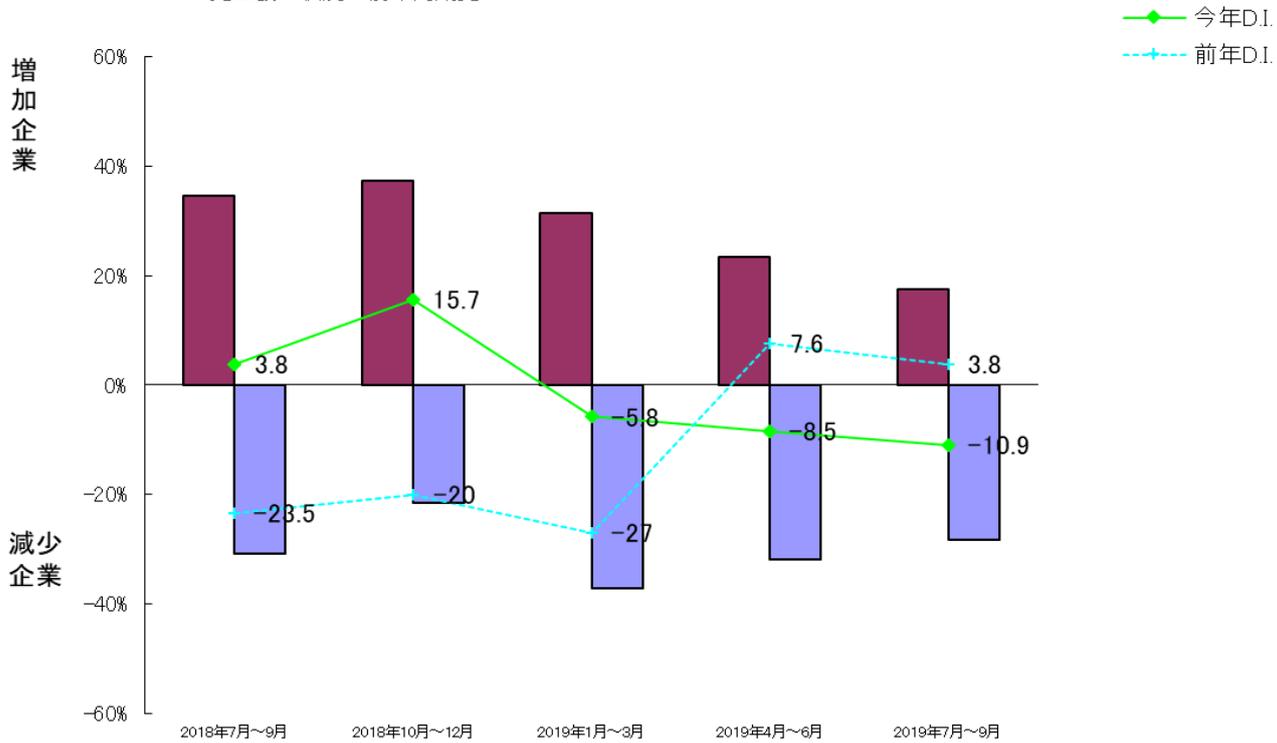
- ・ 既存品の改良又は新商品の開発の取組みを考えなければならない時期になっていると思うが資金も発生する事と卸屋が減っているので商品開発に悩んでいる。取引業者が減っているのが一番の原因だと思う。（パン・菓子製造業）
- ・ 業界全てにおいて注文が少なく大手の取り合いがある。新築に和室が一間又はゼロで受注は見込みなし。町全体が水災以来活気がなく更地ばかりが目立つ。（その他の家具・装備品製造業）
- ・ 経営上の問題点である人手不足の対策が急務の中、その対策として設備投資を行った。それにより様々な加工工程を一括集約した一貫体制が出来たが、完全とはなっていない。外国人労働者の受入れを検討している。（金属素形材製品製造業）
- ・ 価格競争が厳しい中、原料単価上昇分の吸収が難しく、利益率の低下が懸念される。働き方改革への対応に伴い、人件費の上昇が収益に影響を与えてきている。（水産食料品製造業）
- ・ 年金2000万円問題以降、一般の注文が急激に低下。（畳等生活雑貨製品製造業）

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 製造業

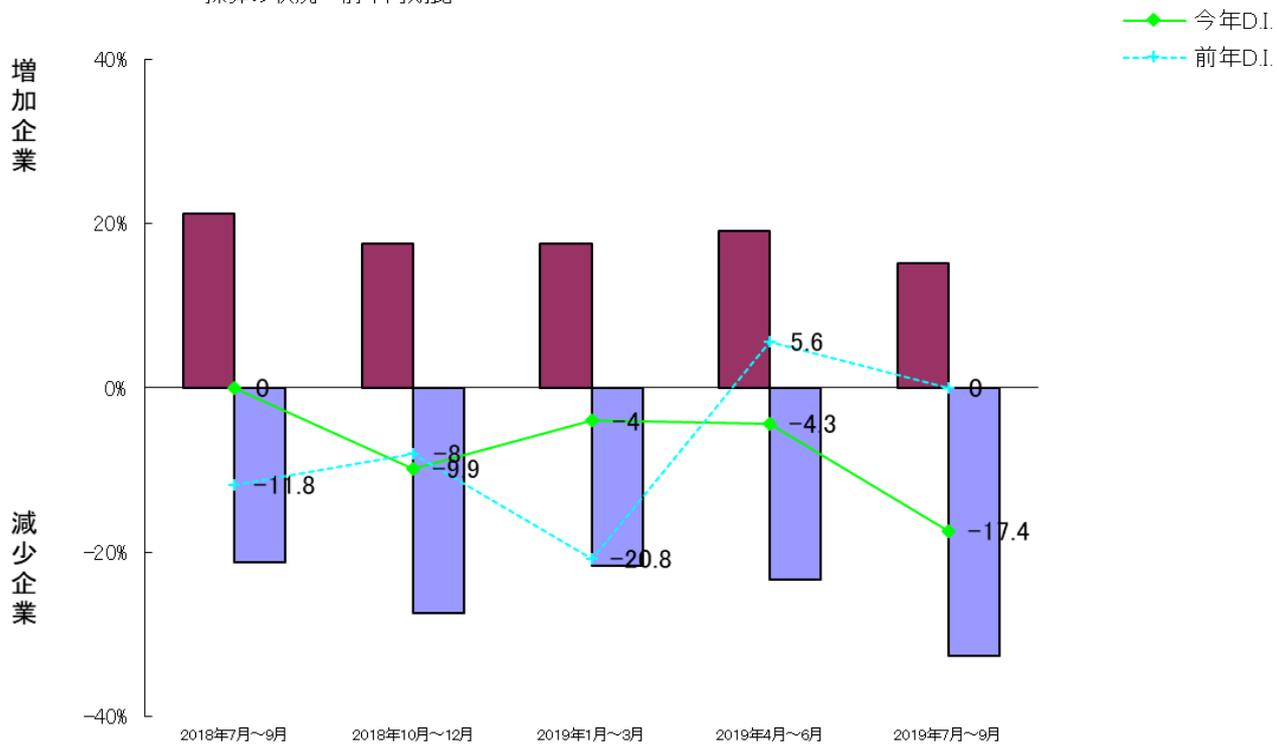
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 製造業

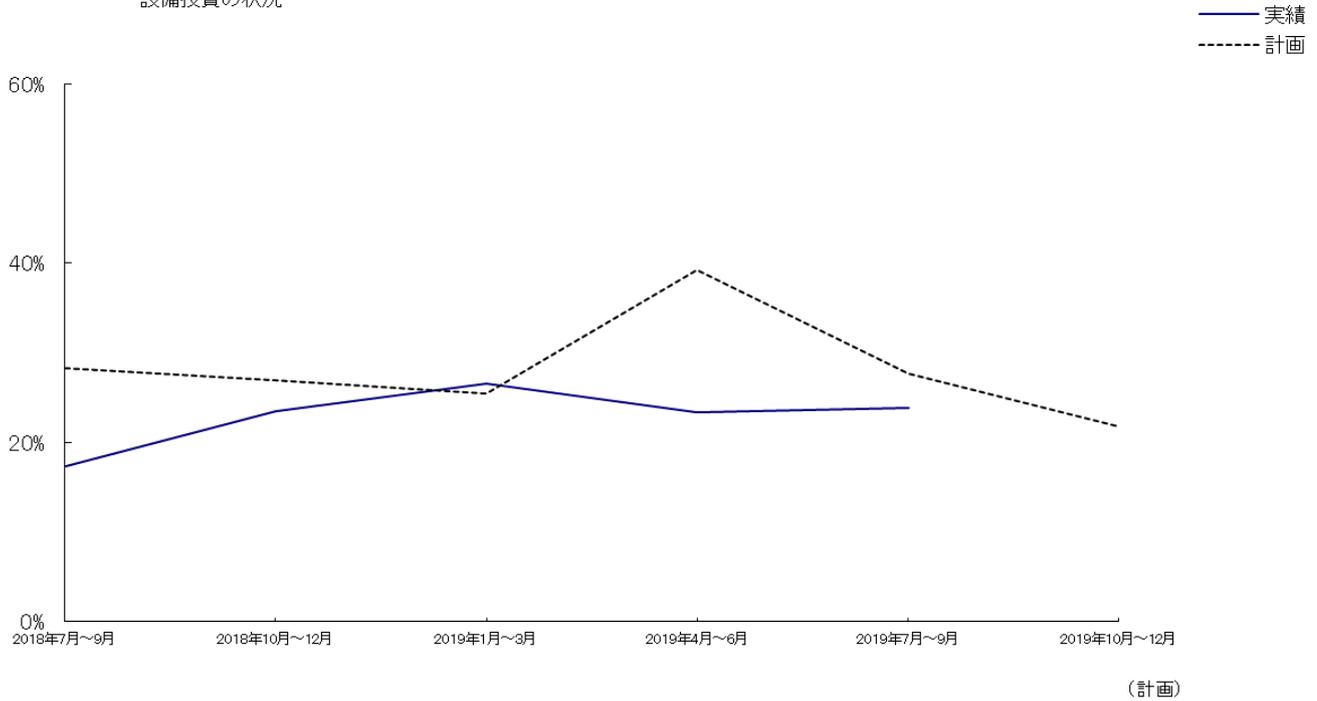
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島 製造業

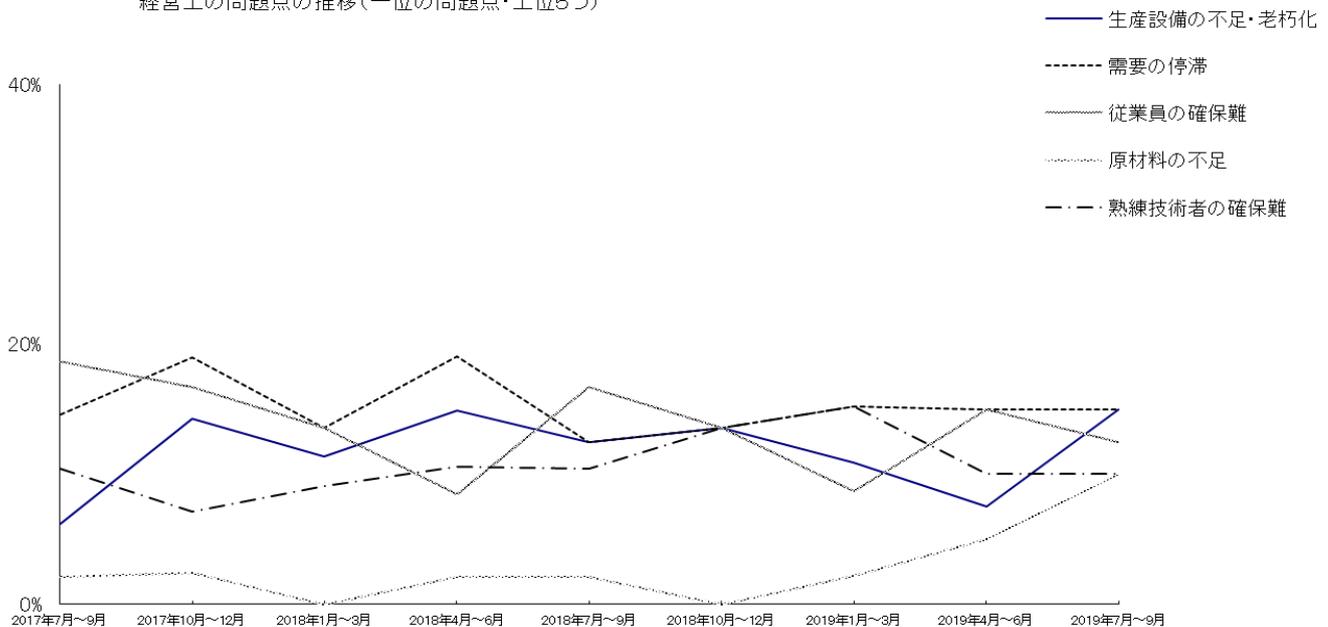
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



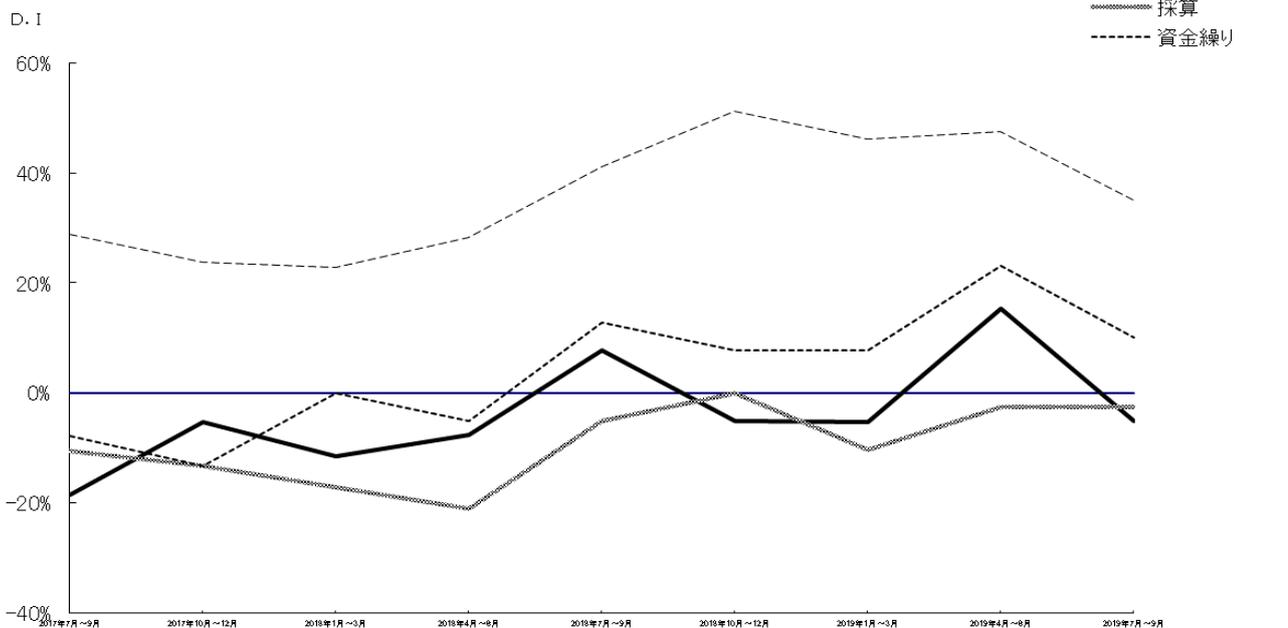
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	H31.4～6	R1.7～9	前期との比較	R1.10～12	今期との比較
売上額 （完成工事額）	15.4	-5.0	↓	-5.0	→	
材料仕入単価	47.4	35.0	↓	25.0	↓	
採算	-2.5	-2.5	→	-12.5	↓	
資金繰り	23.0	10.0	↓	0.0	↓	

広島 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

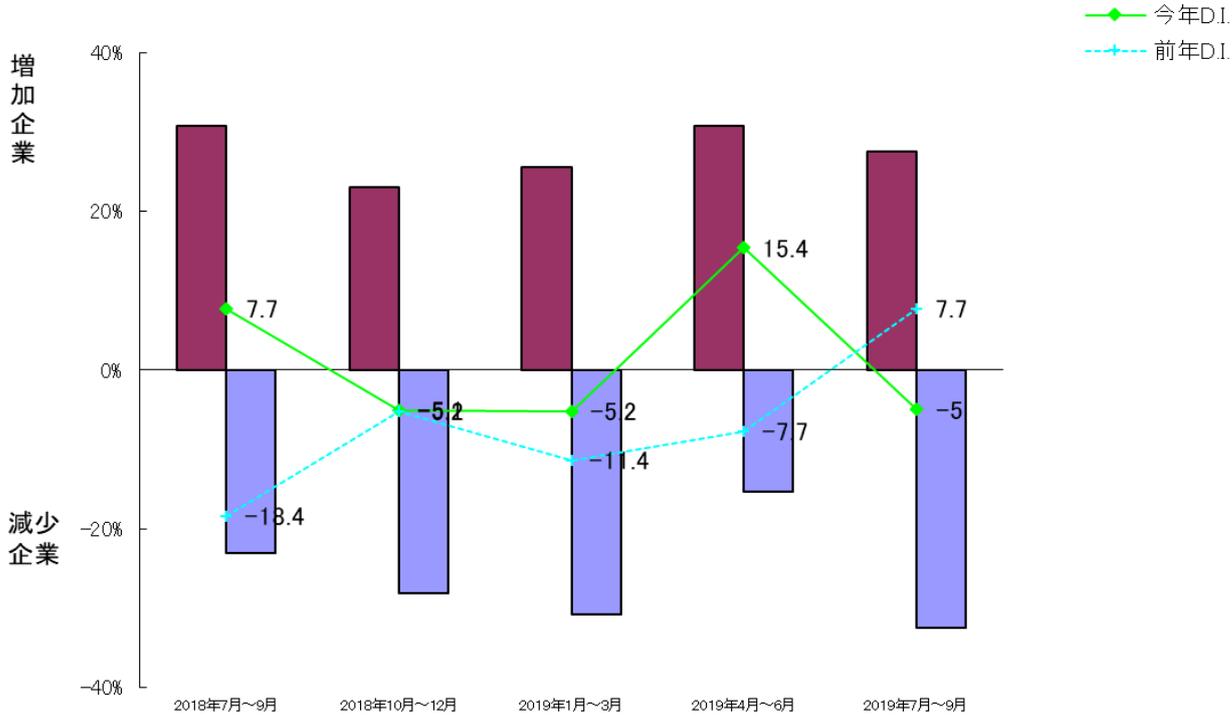
- ・ 公共災害復旧工事の受注増加により、仕事量が大幅に増えて手持ち工事が多くなっている。しかし、従業員の確保が出来ないので思うように工事完了ができない。（管工事業（さく井工事業を除く））
- ・ 消費税10%引き上げによる工事の出遅れの懸念がある。落ち着くまで、工事売上高の減少もあり得る。（鉄骨・鉄筋工事業）
- ・ 仕事内容が、水道工事の修理が多いため、景気に左右されない仕事です。前回に引き続き現状維持です。（給排水・衛生設備工事業）
- ・ 増税前で仕事はあるものの一人役の単価が低く、売上自体は変わらない。（大工工事業）
- ・ 消費税の関係で、材料の価格の上昇や、人手不足といった問題が発生している。（大工工事業）

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

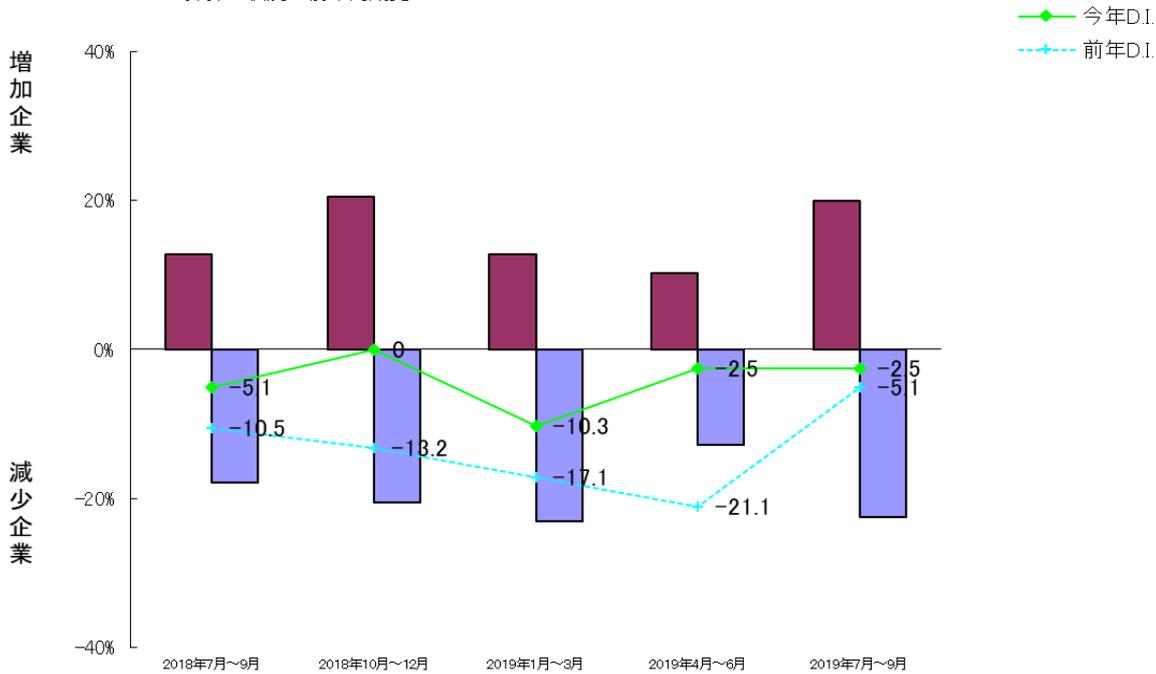
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 建設業

採算の状況-前年同期比-

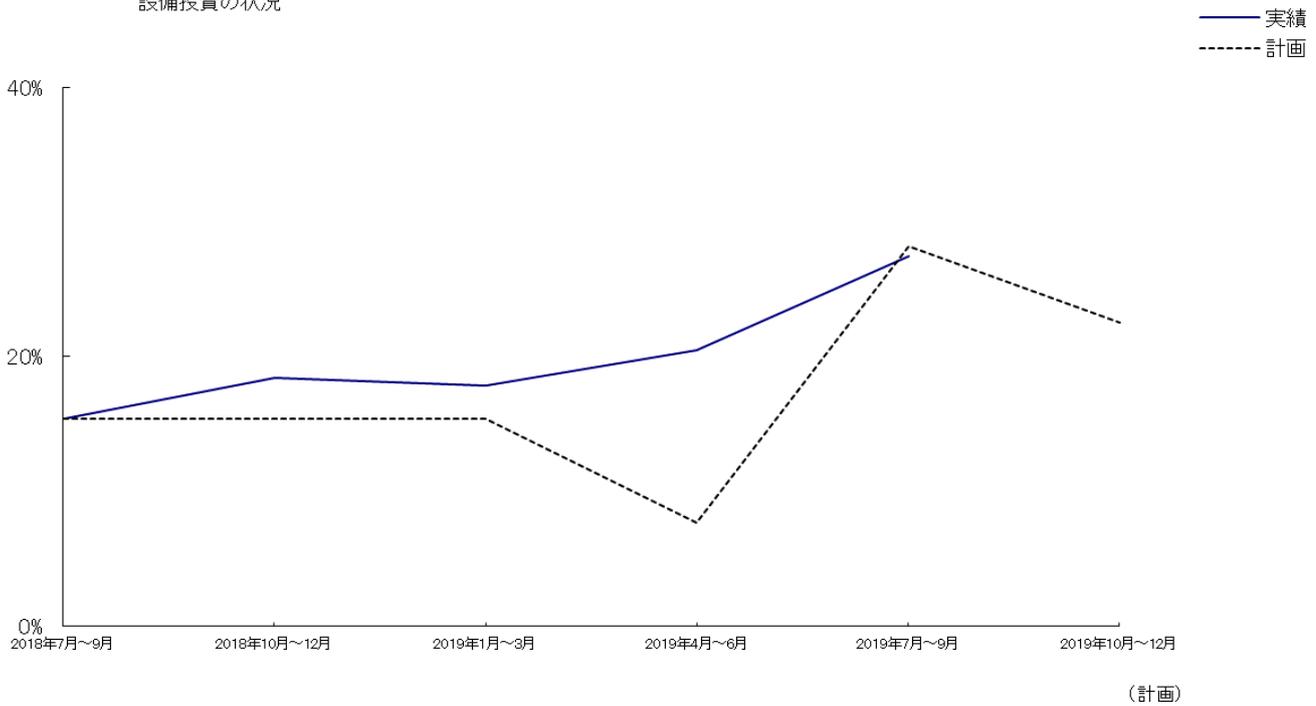


建設業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島 建設業

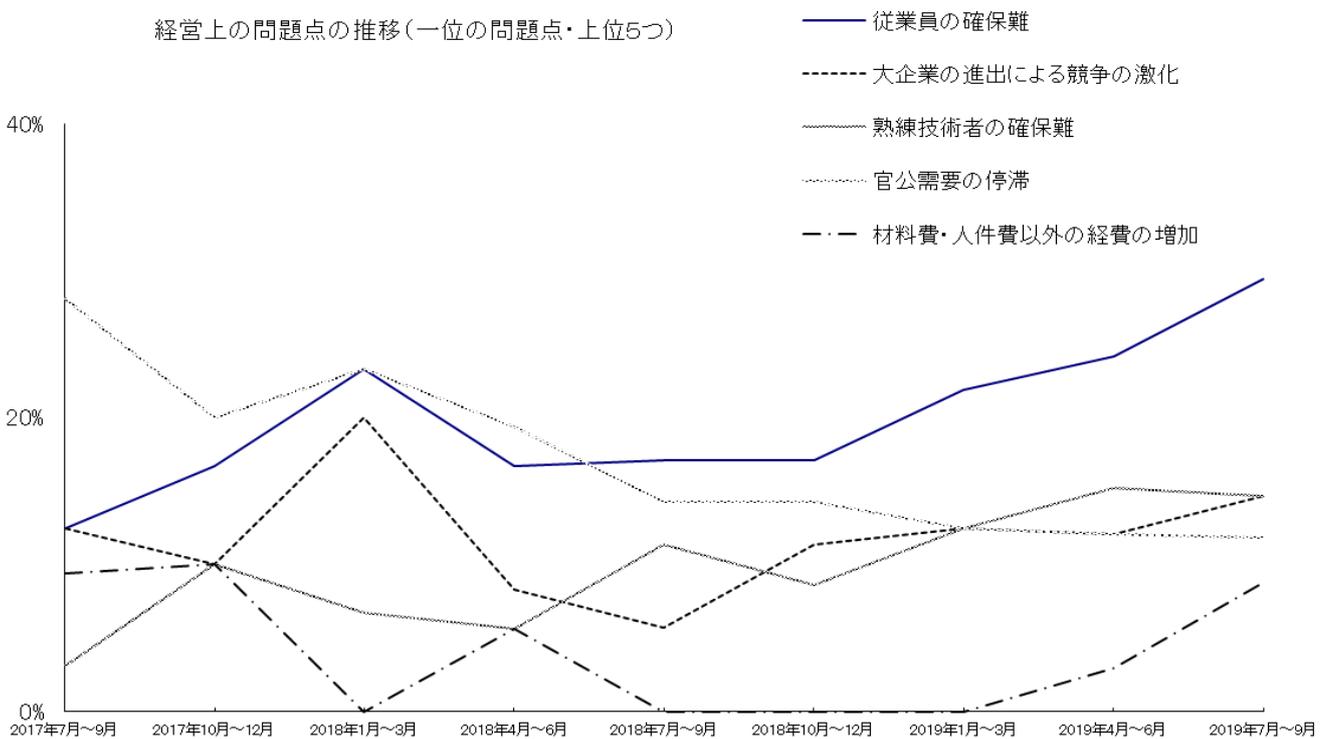
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



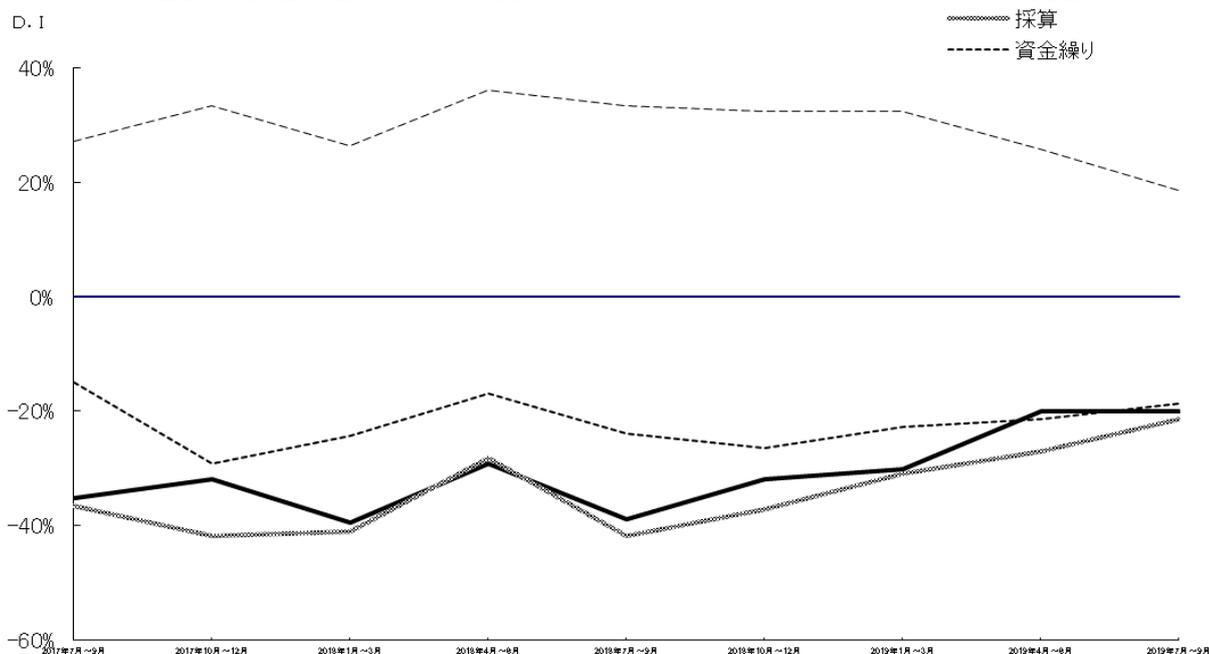
小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	H31.4~6	R1.7~9	前期との比較	R1.10~12	今期との比較
売上額	-20.0	-20.1	→	-24.7	↓	
商品仕入単価	25.7	18.6	↓	18.9	→	
採算	-27.1	-21.4	↑	-25.7	↓	
資金繰り	-21.4	-18.6	↑	-17.2	→	

広島 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

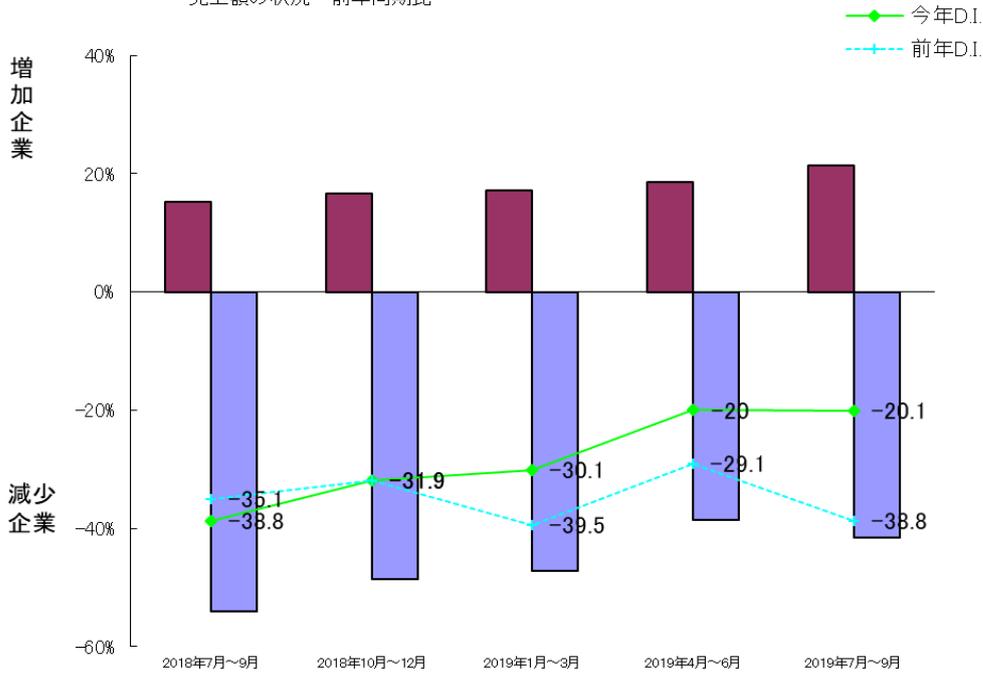
- ・ エネルギー間競争に加え、空き家率の増加傾向により、新規を増やすことが難しくなっている。インターネットによる低価格販売にも苦戦している。ただ増税前の影響か、工事の受注は増えている。（燃料小売業）
- ・ 地域特色である漁業従事者の高齢化や、不漁が消費購買力を低下させている。地域全体が活気がなく、商品が売れないのが現状である。（各種食料品小売業）
- ・ 昨年は豪雨災害の被害にあった影響もあり、今期（7～9月）は、昨年と比べて良かった。しかし、今後の経営の計画、見通しを含めて策定し、復興需要が少なくなった時のための手立てを立て、しっかり準備しないとイケない。（燃料小売業）
- ・ 長年ヤングカジュアルとして品揃えしてきたが、若い層への対応が困難になっており、重ねて購買欲も低くなっているため、商品回転率が悪くなっている。併せて商品仕入れや在庫を少なくすると、じり貧になってしまうのか？（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
- ・ この夏シーズンは、大雨により各種イベントが中止になり売上の予定がなくなりました。消費税10%の駆け込み消費も期待できません。（その他の飲食料品小売業）

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島 小売業

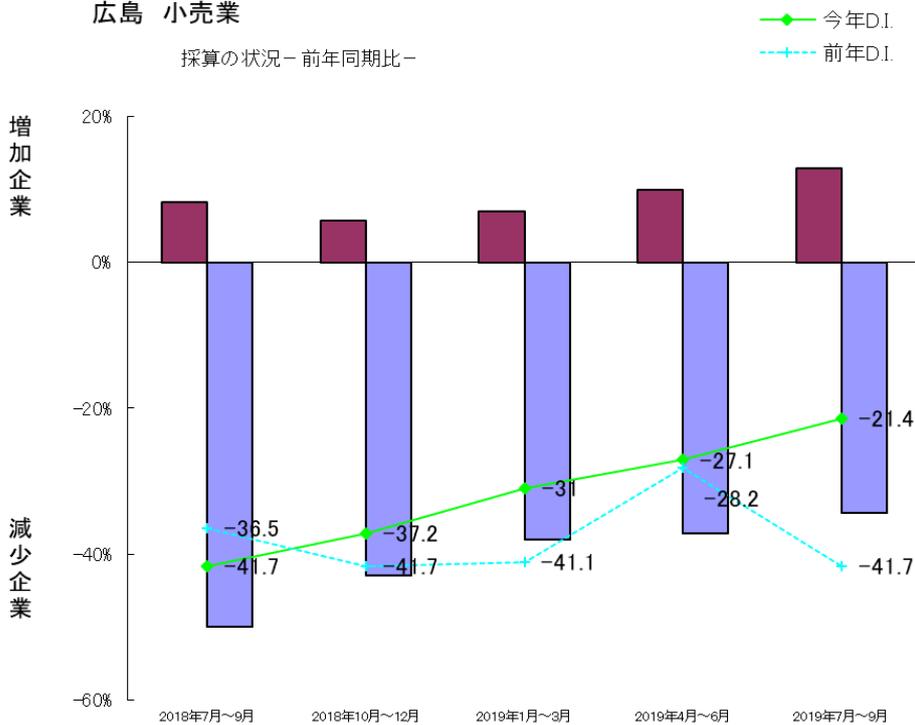
売上額の状況-前年同期比-



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島 小売業

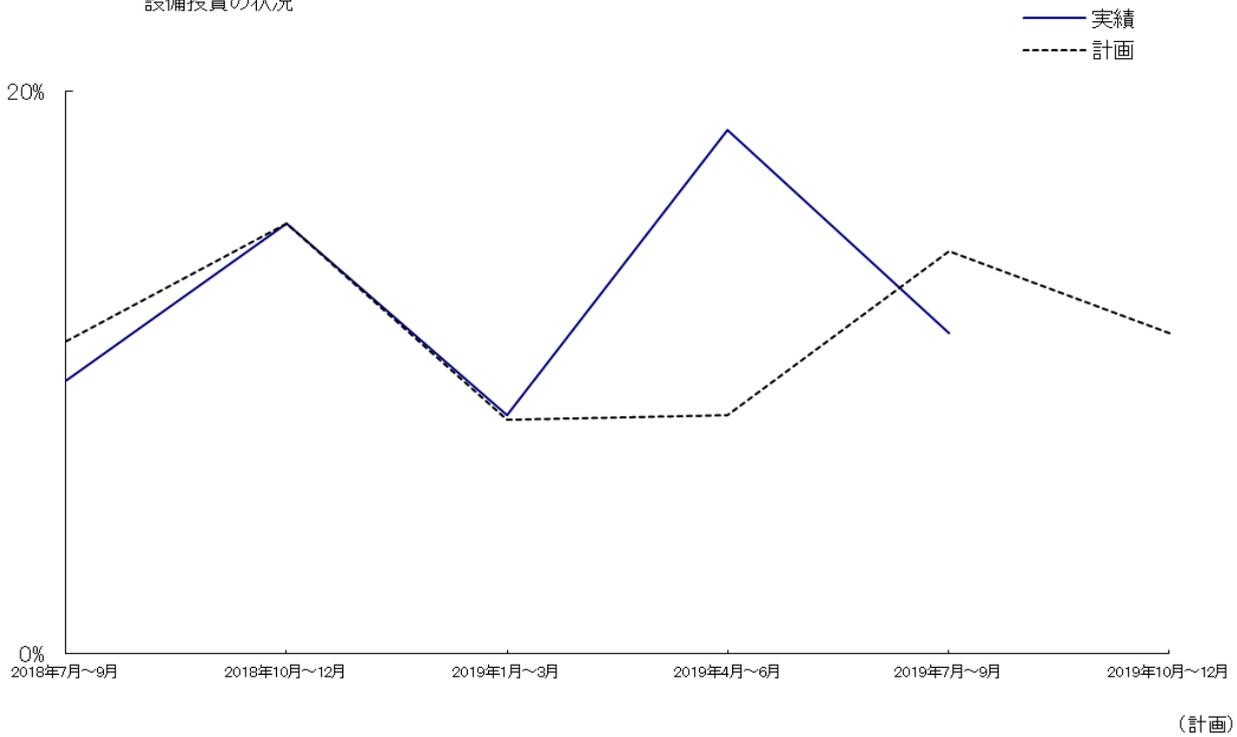
採算の状況-前年同期比-



小売業（商工会地域）

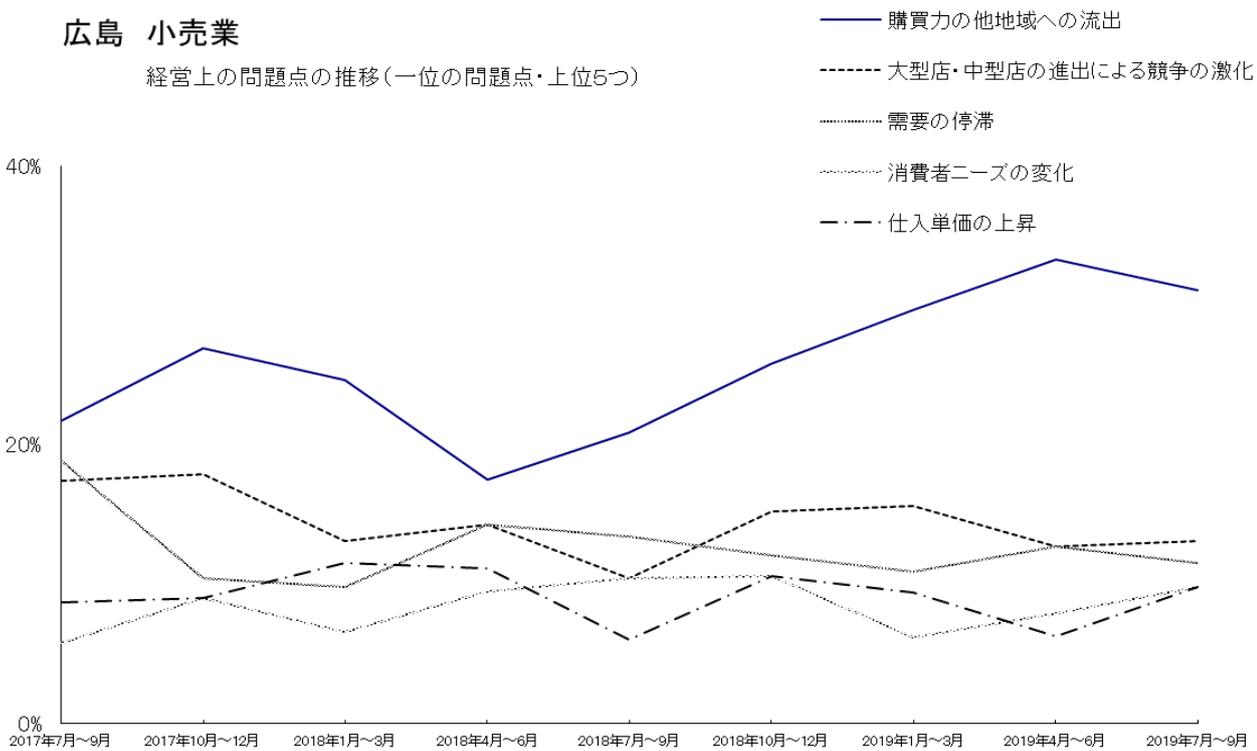
4.設備投資の状況

広島 小売業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 小売業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



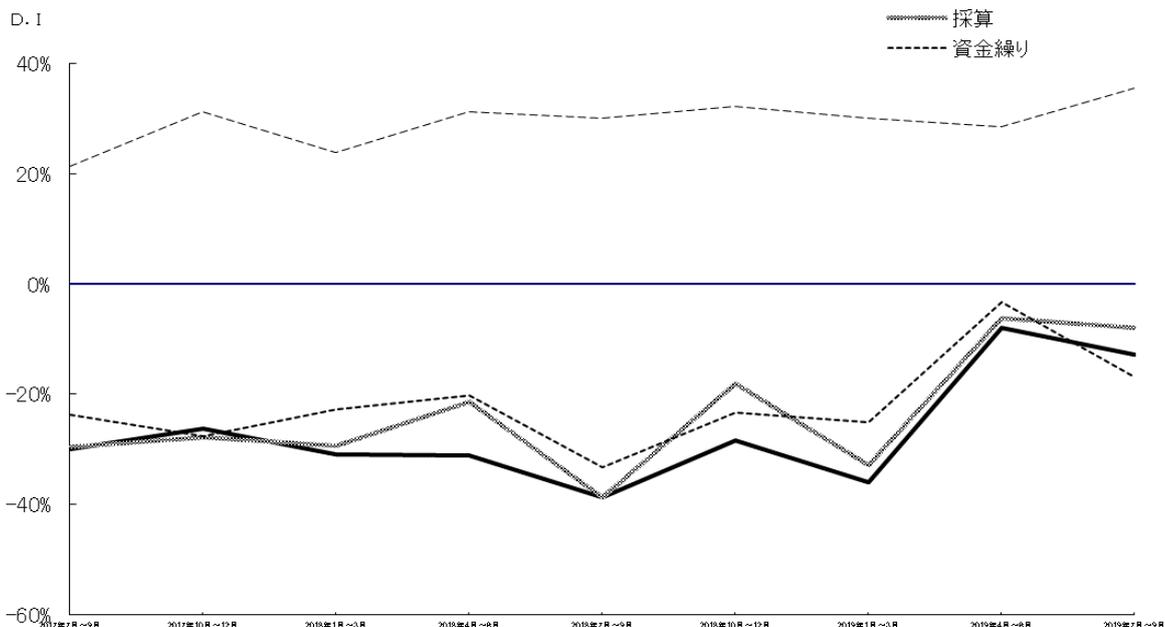
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	H31.4～6	R1.7～9	前期との比較	R1.10～12	今期との比較			
売上額	-8.0	-12.9	↘	-12.9	→			
材料等仕入単価	28.5	35.4	↗	40.3	↗			
採算	-6.3	-8.0	→	-16.2	↘			
資金繰り	-3.3	-16.9	↘	-16.9	→			

広島 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

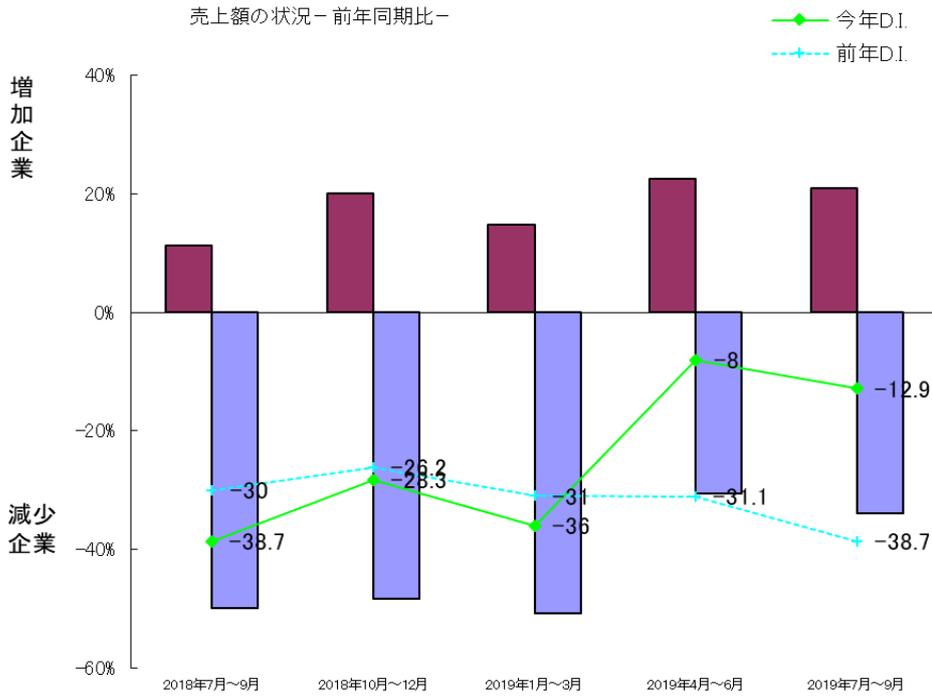
- ・ 消費税の上がる前の仮需要は発生したが、キャッシュレス還元事業が複雑すぎて困る。（自動車整備業）
- ・ 消費税UPに伴い、設備、資料（パンフレット）等、変更により経費がかさむことに大変苦慮している。当分の間は、来館者数は減少するのでは?と不安を持ちながらも、何とか集客できるよう全員で頑張る所存である。（その他の宿泊業）
- ・ とにかく人手不足。特にベテラン乗組員の確保が難しく、確保のためには非常に高額な賃金を支払わなくてはならない。東京五輪後の状況も見渡せないため、新たな設備投資も難しい状況が続くと思われる。（沿海海運業）
- ・ 今期はエージェン트가新しいツアーを企画し、ヒット商品が出たおかげで売上が順調に推移しているが、来期ヒット商品が出るとは限らない。（旅館、ホテル）
- ・ 安価な店が市内に沢山出来て、車で行っても安いから行くという感じがある。それに負けないサービス等が必要になる。（理容業）

サービス業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島 サービス業

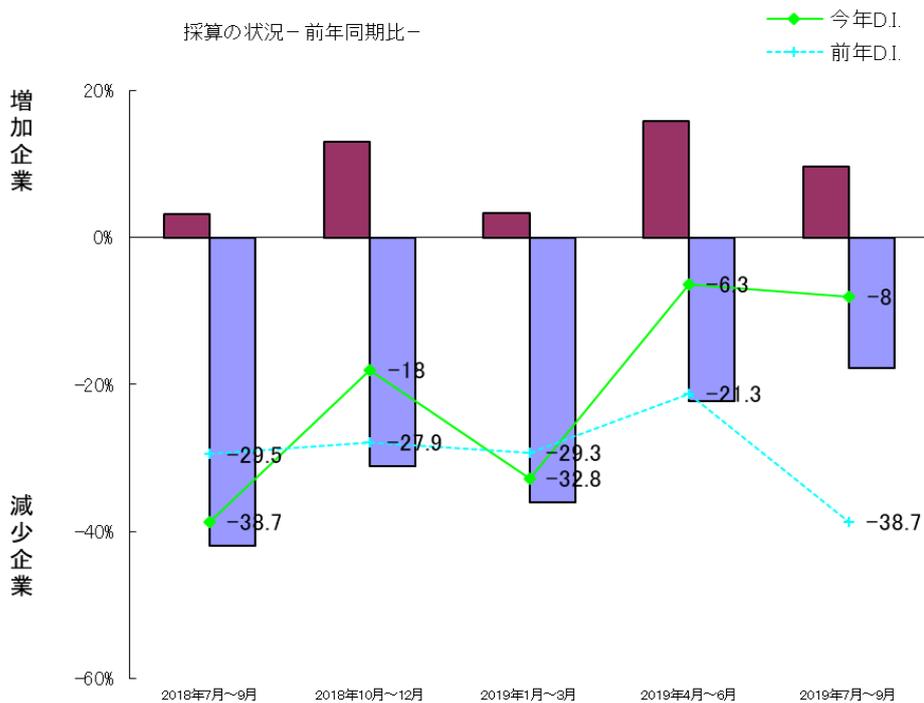
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

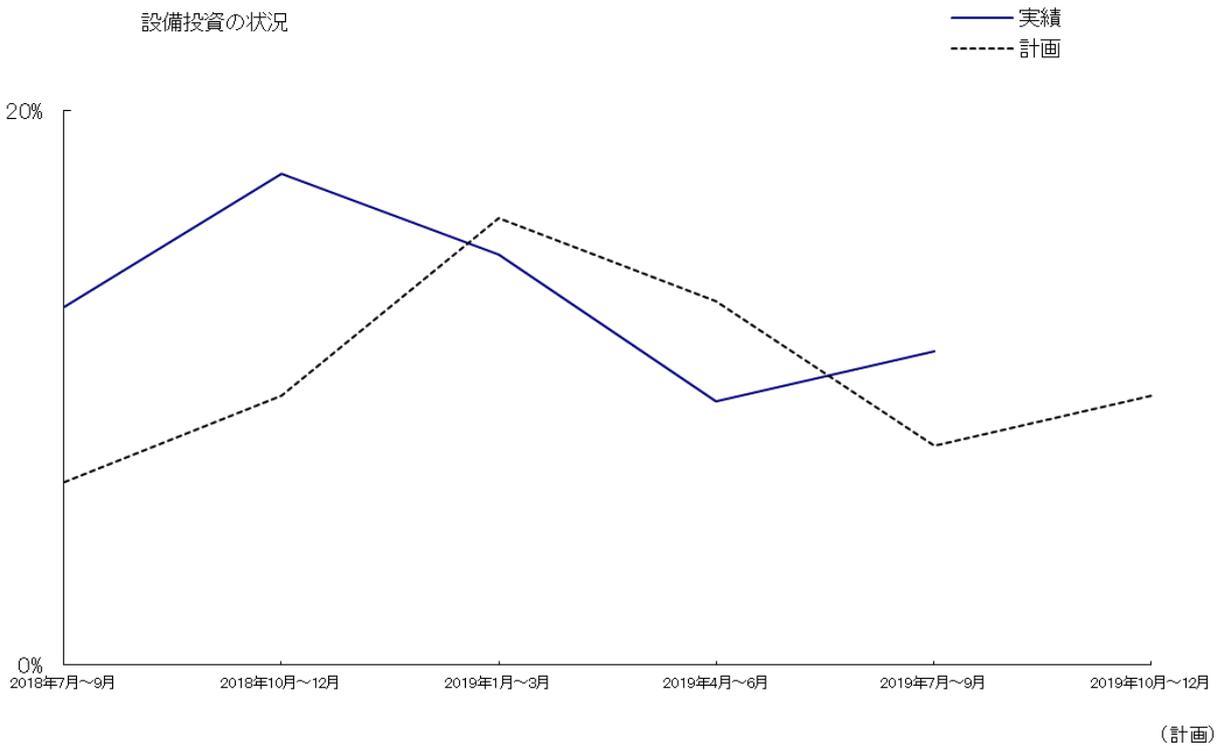
広島 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

